

経営比較分析表（令和6年度決算）

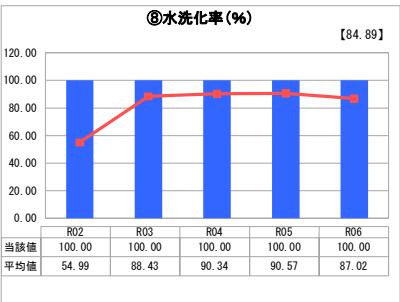
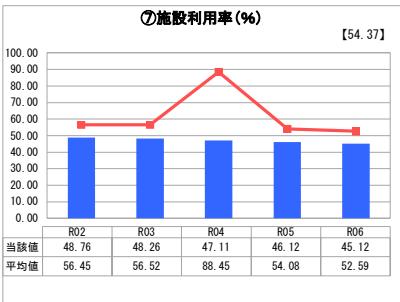
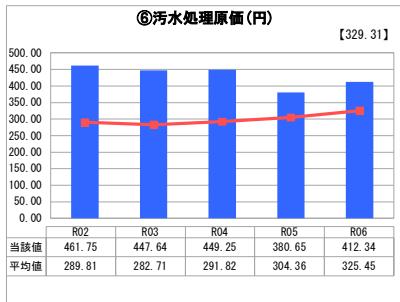
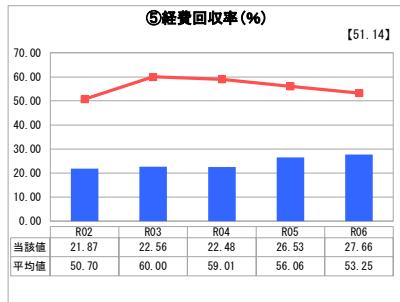
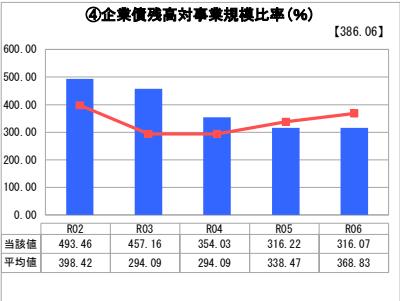
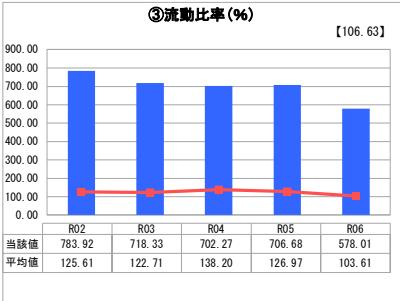
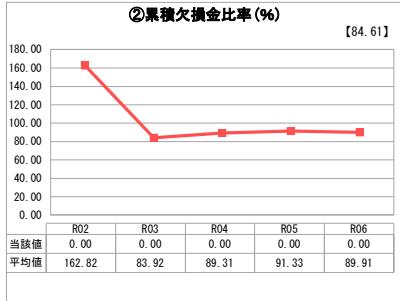
群馬県 太田市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	72.03	0.56	100.00	2,530

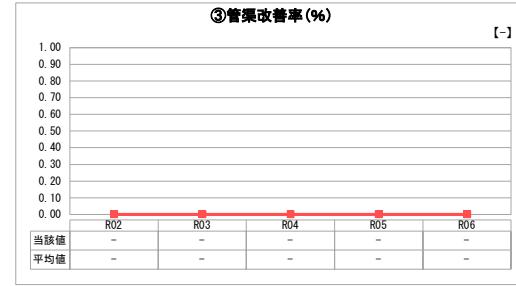
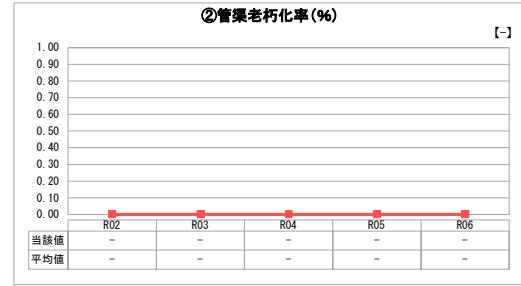
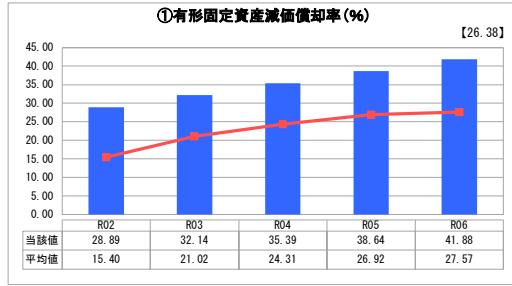
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
223,075	175.54	1,270.79
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,251	6.47	193.35

グラフ例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
□ 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみの類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- 使用料改定に伴い使用料収益が増となつたが、会計線入金の減が大きく収益は減少した。また物上昇に伴う委託料の増により費用が増加したため数値は下降した。
- 事業地域の公共用水域の水質保全を速やかに確保するため、一時的に一般会計線入金（基準外）により収支不足額を補っているため欠損金が発生している。
- 複数事業を同一会計で処理しているため、一般会計線入金（基準外）の精算を他事業で一括処理している。そのため、恒常に高い値を示すこととなる。なお、現金及び預金の減少のほか、未払金の増加により数値は下降した。
- 企業債残高の減少により数値が下降した。
- 事業の性格上、他事業と比較して費用割合が高いため、値が平均値を大きく下回っている。
- 設置されている浄化槽の規模に対して処理区域内人口が少ないため、処理能力には余裕がある。
- 処理区域内人口=浄化槽設置済人口としているため、常に100%となっている。

面的整備とは異なり設置戸数単位での維持管理となるため、コスト削減効果はあまり期待できず、抜本的な構造改革が不可欠となっている。

2. 老朽化の状況について

- 新規の設置を廃止し、新たな建設改良費の計上がないため、有形固定資産が増加しないため、値が増加している。
- 浄化槽のため未計上。
- 浄化槽のため未計上。

事業開始からの経年年数が短いため、老朽化対策の必要性は未だ生じていない。

全体総括

本事業の性格上、面的整備を主体とした公共下水道等と比較するとコストが割高となる傾向にあるが、市内全域の公共用水域の水質保全を速やかに確保するためには必要な事業と言える。また、独立採算を目指す上で、一般会計線入金（基準外）の依存度が他事業に比べて高い点が大きな課題となっており、令和6年6月検針分より、経費回収率を80%とする下水道使用料の改定を行った。事業の公共性や継続性を担保することも重要であり、計画的かつ効率的な経営に努めたい。